

1. 科目名（単位 数）	心理学研究法演習Ⅰ（2単位）	3. 科目番号	SPMP3370 PSMP3370
2. 授業担当教員	加藤 宏一 / 齋藤 瞳 / 鎌田 依里 / 鈴木 克也 / 小池 直 / 飯野 嘉浩 / 小松 昭吾 / 蓮井 千恵子 ＊指導教員を一人選び、論文作成のための指導を受ける授業です		
4. 授業形態	演習（一部講義）	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	心理学の基礎・応用分野における講義にて学習した内容を踏まえながら、心理学における主要文献の講読を行うとともに、文献内における重要ポイントを読み解き、他者に説明する力を身につける。この基礎として、学生自身が心理学の関連文献を検索することも学習の課題とする。さらに、各文献内における問題点を見つけ出し、どの様な心理学的研究を行うことによって、その問題を解決することができるのかを考察する。演習形式により、最終的には、心理学研究における課題発見から研究計画までの流れを理解する。		
8. 学習目標	研究論文を作成するための文献研究を中心に学習し、自らの課題を発見し、研究計画を立てる。詳細については、担当教員が授業の中で提示する。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	担当教員が授業の中で提示する。		
10. 教科書・参考 書・教材	担当教員が授業の中で提示する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 研究論文を作成するための文献研究ができる 2. 文献研究の結果を元に、研究テーマを発見することができる 3. 研究計画を立てることができる ○評定の方法 学則で決められた単位取得の条件を満たしていること（3/4 以上の出席）を前提として、担当教員の課した課題（先行研究レビューのレポート、卒業論文のための研究計画書等）の提出（100％）をもって成績を評価する。		
12. 受講生への メッセージ	担当教員が授業の中で提示する。		
13. オフィスアワー	担当教員が授業の中で提示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
担当教員	授業内容		
加藤 宏一	【授業目的】認知心理学または学習心理学の研究領域について学習します。また、こうした領域で実際に研究を行うために必要な実験心理学的手法やデータ分析法について学びます。 【授業方法】認知心理学または学習心理学の様々な研究領域の中から興味のある書籍や論文を読み、レジюме（要約）を作成してもらいます。また、周囲の人々を対象に簡単な実験を行い、演習を通して、研究計画の設定、データ解析、小レポート作成などを体験します。 【授業目標】研究計画の設定。文献購読を通して発見した課題を、実験的手法を用いて検証するための研究計画書の作成を目標とします。 【研究領域】認知心理学または学習心理学の領域における実験的手法を用いた研究。（私自身は、感情と記憶、記憶の符号化（覚えること）と検索（思い出すこと）のメカニズム、メタ認知、忘却などのテーマに特に興味をもっています。） 【受講者へのメッセージ】まずは、いろいろな文献を読み、興味の持てるテーマを発見してください。そして、授業外でも自ら積極的に学習し、研究の楽しさ・難しさを知ってもらいたいと思います。文献購読に基づいて設定した仮説を客観的データによって検証するという科学研究の一連の流れを理解すること、卒業研究に必要なスキルを獲得することを目指します。 【オフィスアワー】 授業にて通知する。		
齋藤 瞳	【授業概要】心身医学や臨床心理学に関連した学術論文を講読し討論を行うことにより、研究論文の読み方、研究デザイン、研究方法に関する基礎知識を得る。その中で、自らの関心を絞り、学術的に新しい知見をもつオリジナルな論文作成を目指し、研究計画の立案を行う。 【研究領域】心身医学、臨床心理学 【受講生へのメッセージ】研究をする上で重要となる客観性や論理性は、日常生活における問題解決能力や自己管理能力につながります。授業で学んだことを日常生活にも応用し役立てることを目指しましょう。 【オフィスアワー】 初回授業でお知らせします。		
鎌田 依里	【授業概要】慢性の病い／障がい／不治の病いを有して生きる人やその家族、支援者のこころ、力動的心理学に興味がある方はご相談ください。「語り」を大事にする質的研究を中心に進めます。受講生の問題意識にそって今後の研究の方向性を検討します。 【研究領域】医療心理学、身体疾患を抱えて生きる人の心理、ユング派心理療法 【受講者へのメッセージ】人は誰でも病気になったり、障害を抱えて生きることになったりする可能性を抱えています。ひとのこころを丁寧に扱うことができるように、具体的に学んでいきましょう。 【オフィスアワー】 別途連絡します。		
鈴木 克也	【授業概要】受講生が興味を持っている領域の専門書や研究論文をまとめて発表していくかたちで授業を進めます。専門書や研究論文をじっくり読む体験を通じて、自分が専門にしたい領域の知識や研究方法が少しずつ自分のなかに蓄積されていくことを実感していただきたいと思います。 【研究領域】臨床心理学、保育施設における保護者支援		

	【受講者へのメッセージ】卒業研究に取り組むためには、自ら進んで学ぶことが必要になります。それは決して楽なことではありませんが、とても大切なことです。「心理学研究法演習Ⅰ」を通じて、その第一歩を踏み出していただきたいと思います。 【オフィスアワー】別途連絡します。
小池 直	【授業概要】各自の研究テーマに関連する学術書や先行研究論文を精読し、その内容を体系的にまとめたレジュメに基づき発表を行います。関連領域の文献講読と議論のプロセスを通じて、自身の研究計画をより深化させ、学術的な視座を養うことを目的とします。 【研究領域】臨床心理学、集団精神療法、特別支援教育 【受講生へのメッセージ】研究と臨床の両輪を大切にしていきたいと思います。研究を通して目の前の現象を客観的に捉え直すことは、臨床における深い洞察へとつながります。自身の関心を追求するプロセスを楽しみながら、粘り強く探究していきましょう。 【オフィスアワー】別途連絡します。
飯野 嘉浩	【授業概要】受講生が興味を持つ領域の学術論文を読み、かつその内容を発表することで、学術的な知識や科学的思考を得ることを目的に授業を行います。学術論文を読み込むことで、研究に関する知識、研究法を学んでいきます。 【研究領域】臨床心理学 教育領域における支援 【受講生へのメッセージ】自らの興味・関心に基づくテーマを発見し、そのテーマについて主体的かつ深く探究することを目指します。論文作成を通して、これまでの学びを整理・発展させ、その成果を形にしていきたいと思います。 【オフィスアワー】別途連絡いたします。
小松 昭吾	【授業概要】自身が関心の持つ領域に関する学術書や研究論文を読み、それをまとめて発表してもらう形式を取ろうと思っています。その中で、講義や討論を通して、心理学論文の形式や内容、研究方法について学び、ひいては自身の関心事がどんな内容であるのかについて、理解を深めていただきたいと思います。 【研究領域】臨床心理学、心理検査、芸術療法 【受講生へのメッセージ】研究テーマと研究計画を、自分で立案し、実際に、データの収集、データの結果の読み取り、その結果に関する考察をしていくといった論文作成の過程を学んでいただきたいと思います。そのような、考え方を身に着けること自体が、ご自身の今後の社会生活に活かされると考えております。 【オフィスアワー】別途連絡します。
蓮井 千恵子	【授業概要】心に関連するさまざまな領域について、量的・質的・混合・理論的アプローチを用いた研究論文を対象に、学生の皆さんの興味関心に応じて検討を進めていきます。 【研究領域】精神分析的心理療法、森田療法、文化 【受講生へのメッセージ】既存の理論に対する疑問を大切に自らの考えを深め、その結果を来談者への援助に生かしていく姿勢を重視しています。 【オフィスアワー】別途連絡します。